

下水道経営計画

1. 整備方針

下水道機能を適切に確保するため、改築更新（アセットマネジメント）を計画的に実施するとともに、災害に強い下水道を目指し、浸水対策や地震対策に重点的に取り組む。

2. 下水道経営計画2028（R7～R10）の状況

施 策	項 目		令和6年度末 (見込) (計画当初)	下水道経営計画2028			
				令和7年度末 累計(見込) (A)	令和8年度 事業量 (B)	令和8年度末 累計(予定) (A) + (B)	令和10年度末 目標
改築更新 (アセット マネジ メント)	管 渠	km	—	36	36	72	144
	ポンプ場	設備	—	11	18	29	77
	水処理センター	設備	—	30	22	52	131
浸水対策	雨水整備 D。プラン2026	地区	26	23	10	33	33
	雨水整備 レインボープラン天神	—	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 実施	第2期事業 完了
	次期雨水整備計画	—	検討	検討	策定	策定	実施
	内水浸水想定区域図	—	検討	作成	公表	公表	公表
地震対策	管 渠 ※1	%	62.0	62.7	0.5	63.2	64.1
		km	922	933	8	941	954
	ポンプ場 ※2	%	65.5	67.3	0.0	67.3	72.7
		箇所	36	37	0	37	40
	水処理センター ※3	%	50.0	53.2	8.5	61.7	74.5
		施設	47	50	8	58	70
経営目標	企業債残高	億円	3,056	3,124	—	3,058	2,818
	経常収支比率	%	113.6	111.7	—	110.6	100%以上

※1 耐震性能確保済み延長÷重要な幹線等の延長1,488 km

※2 耐震性能確保済み箇所数÷耐震性能の確保が必要な箇所数55箇所

※3 耐震性能確保済み施設数÷最低限の機能確保に必要な施設数94施設

改築更新（下水道施設の資産マネジメント）

1. 目的

下水道機能を適切に確保するため、老朽化が進行する下水道施設の改築更新を計画的に進める。

2. 事業概要

基本方針	適切な維持管理による長寿命化を図るとともに、ライフサイクルコストの最小化を図りながら、施設の計画的な改築更新を進めます。 特に、施設の整備時期が早く、老朽化の進んだ都心部については「都心部下水道主要施設再構築プラン」に取り組みます。
事業費	約729億円（下水道経営計画2028 令和7年度～10年度）

3. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年度	令和8年度（予定） (A)	令和7年度末（見込） (B)	令和8年度末（予定） (A) + (B)
事業費	18,845	17,975	36,820
管 渠	12,263	10,818	23,081
ポンプ場	2,576	1,826	4,402
水処理センター	4,006	5,331	9,337
進捗率(%)	—	24.7%	50.5%

事業内容

項 目	主 な 施 設 ま た は 箇 所
管 渠	36km：美和台、昭南町、平尾、高宮、樋井川、飯倉、生の松原
ポンプ場	堅粕第3（電気）
水処理センター	和白（機械）、東部（機械）、中部（機械）、西部（電気）

改築更新（都心部下水道主要施設再構築プラン）

1. 概要

都心部の下水道主要施設は、整備時期が早く、老朽化が進んでいる状況であるが、既存施設の用地が狭小で、現有用地内での建替え等の実施が困難であることから、ポンプ場の集約化等による一体的な再構築を行い、老朽化対策に加え、下水道施設の強靱化や、那珂川や博多川の環境改善等に貢献する。

2. 施設計画

施設概要

施設名	計画
中部水処理センター （汚水ポンプ）	揚水能力 7m ³ /s
福岡中央ポンプ場	揚水能力 18m ³ /s
那珂川遮集幹線	管径 φ2,000mm、延長 約1,900m
那珂川幹線	管径 φ3,500mm、延長 約1,900m
第四遮集幹線	管径 φ2,600mm、延長 約3,800m

位置図



3. 事業期間および事業費

事業期間	令和6年度～令和25年度
事業費	約500億円

4. 令和8年度事業内容

基本設計・調査・準備工 等

浸水対策（雨水整備Dのプラン2026）

1. 目的

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできた。令和元年度からは、重点地区（※）を拡大し策定した「雨水整備Dのプラン2026」に基づき、引き続き雨水対策を進める。

※重点地区の定義：平成元年度から30年度までの期間に、1回の降雨で5棟以上の浸水被害が発生した地区

2. 事業概要

事業期間	令和元年度～令和8年度
対象地区	33地区
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）
事業費	変更後 約137億円（変更前 約133億円）

※事業費変更の主な理由
労務単価及び建設資材単価上昇等

3. 進捗状況

年 度	進 捗 状 況
令和6年度末 累計	完了：17地区（唐原、東月隈、井相田、千代、中洲、港、横手、三宅、市崎、花畑、友丘、干隈、賀茂、姪浜、小戸、福重、田尻）
令和7年度 事業量（見込）	完了：6地区（松島、原田（2）、東比恵、上呉服町、老司、柳河内）
令和8年度 事業量（予定）	完了：10地区（松田、原田（1）、金隈、西月隈、吉塚、堅粕、上川端町、下川端町、大楠、田村）
令和8年度末 累計（予定）	完了：33地区

4. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

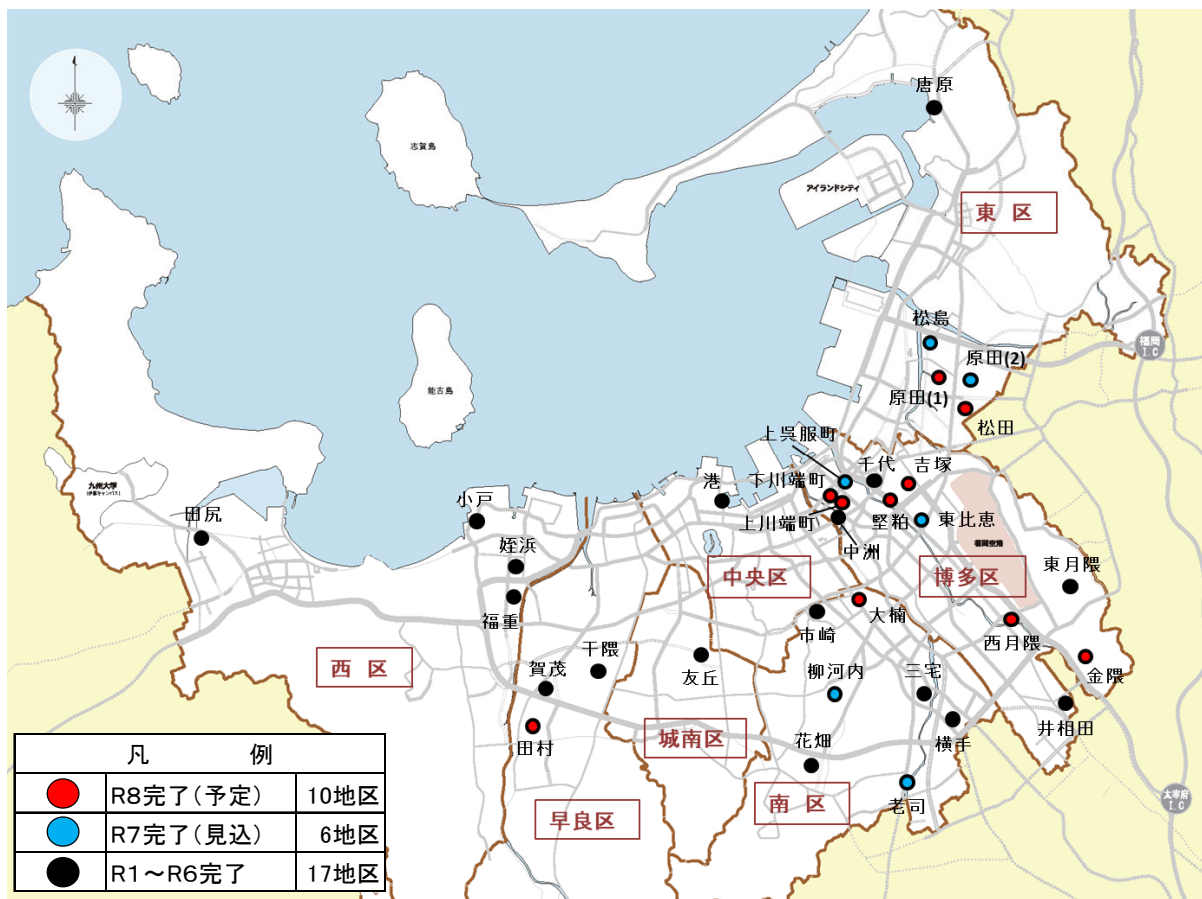
（単位：百万円）

年度	令和8年度（予定） (A)	令和7年度末（見込） (B)	令和8年度末（予定） (A) + (B)
事業費	2,714	10,986	13,700
進捗率（%）	—	80.2%	100.0%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	金隈地区雨水管、西田隈第3雨水幹線

5. 重点地区の箇所図



(参考) 雨水整備Dプラン2026 重点地区の進捗状況

行政区	重点地区数	R7年度末(見込み)	R8年度事業量	R8年度末(予定)	令和8年度完了地区(予定)
東 区	5地区	3	2	5	松田、原田(1)
博多区	12地区	6	6	12	金隈、西月隈、吉塚、堅粕、上川端町、下川端町
中央区	1地区	1		1	
南 区	7地区	6	1	7	大楠
城南区	1地区	1		1	
早良区	3地区	2	1	3	田村
西 区	4地区	4		4	
計	33地区	23	10	33	

【参考】雨水整備Dプラン（旧重点59地区）

1. 目的

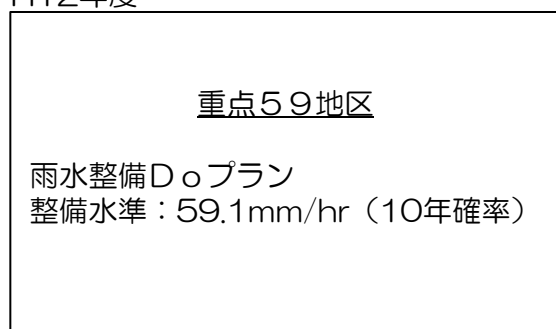
平成11年6月29日の豪雨により、浸水被害が発生した地区で、被害が重大でかつ過去にも複数回浸水した地区（※重点地区）において、早期に対策を行い、浸水被害の軽減を図る。

また、雨水整備Dプランは、平成30年度をもって事業完了している。

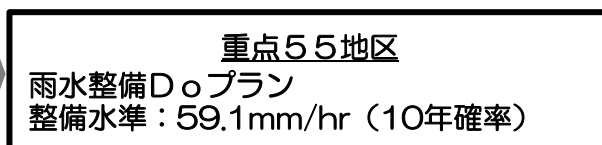
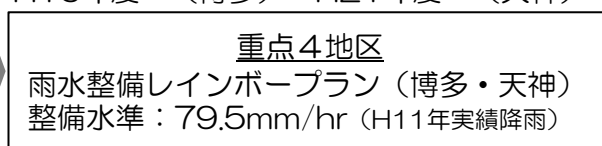
※重点地区の定義：平成3年度以降複数回浸水し、かつ平成11年6月29日の豪雨により概ね10戸以上浸水した地区

2. 重点地区の整備水準

H12年度～



H16年度～（博多） H21年度～（天神）



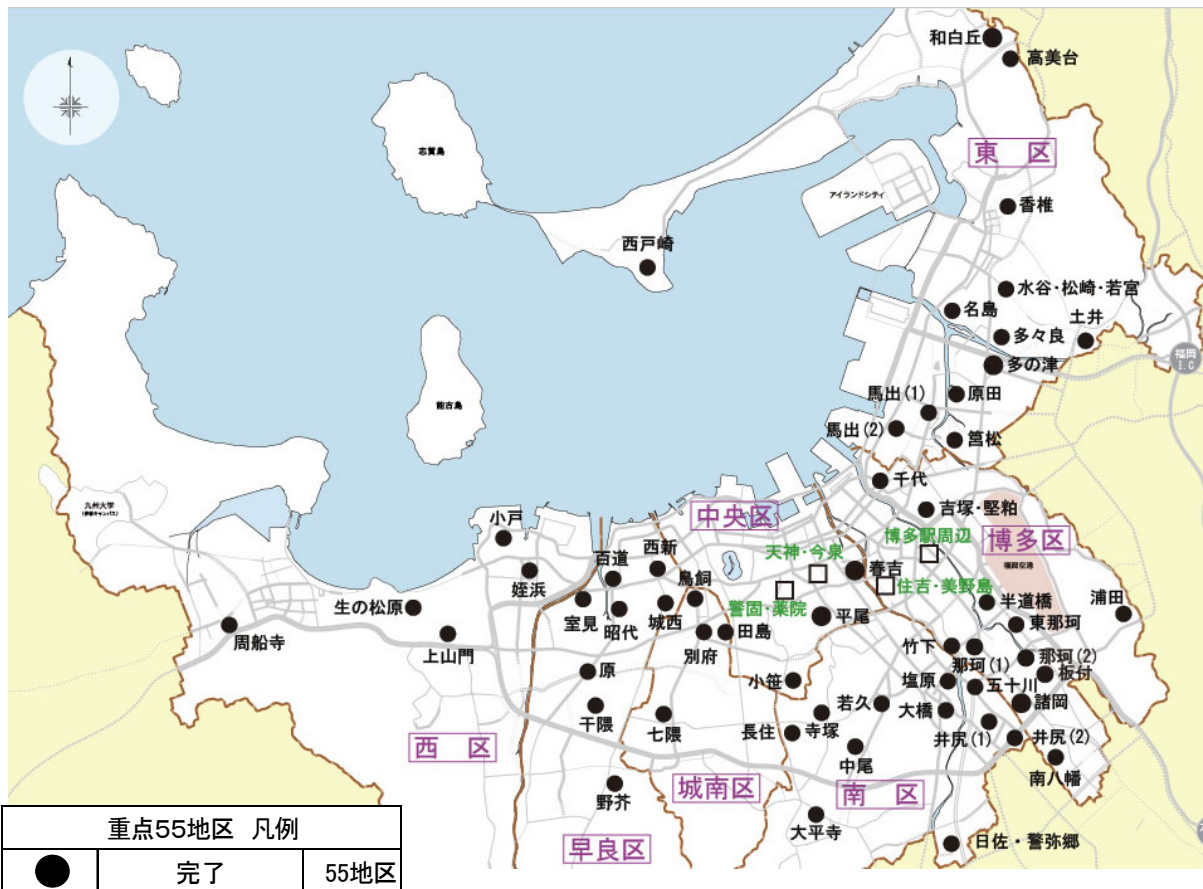
3. 事業概要

対象地区	55地区
整備水準	52.2mm/hr（5年確率） → 59.1mm/hr（10年確率）
事業年度	平成12年度～平成30年度
全体事業費	約1,256億円

4. 重点55地区の内訳

行政区	重点地区数(A)	重点55地区の内訳
東区	13地区	西戸崎, 和白丘, 高美台, 香椎, 水谷・松崎・若宮, 名島, 多々良, 土井, 多の津, 原田, 筥松, 馬出(1), 馬出(2)
博多区	11地区	千代, 吉塚・堅粕, 竹下, 那珂(1), 那珂(2), 諸岡, 半道橋, 東那珂, 浦田, 板付, 南八幡
中央区	3地区	春吉, 平尾, 小笹
南区	11地区	塩原, 大橋, 五十川, 井尻(1), 井尻(2), 日佐・警弥郷, 若久, 中尾, 寺塚, 長住, 太平寺
城南区	4地区	烏飼, 別府, 田島, 七隈
早良区	8地区	城西, 西新, 百道, 昭代, 室見, 原, 干隈, 野芥
西区	5地区	姪の浜, 小戸, 上山門, 生の松原, 周船寺
計	55地区	

(参考図)



(参考) 雨水整備レインボープラン 重点4地区

- 天神・今泉、警固・薬院 (2地区) : 雨水整備レインボープラン天神により10年確率対応完了
(第1期事業が平成30年度に完了、第2期事業を令和元年度より実施)
- 博多駅周辺、住吉・美野島 (2地区) : 雨水整備レインボープラン博多により完了

浸水対策（雨水整備ラインプラン天神）

1. 目的

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水整備水準を引き上げて、雨水対策を強化した「雨水整備ラインプラン天神」により、浸水に対する安全度の向上を図る。

2. 事業概要

段階的に整備を進めており、平成30年度までに第1期事業が完了し、令和元年度から、第2期事業を実施している。

事業期間	変更後 令和元年度～令和11年度（変更前 令和元年度～令和10年度）
対象区域	約180ha（第2期）〔全体計画：約260ha〕
整備水準	59.1mm/hr（10年確率）（第2期）〔全体計画：79.5mm/hr〕
事業費	変更後 約244億円（変更前 約202億円）

※事業期間変更の理由

中部11号幹線発注時期の見直しに伴う期間の延長

※事業費変更の主な理由

①立坑用地の確保に伴う雨水管渠のルート変更等	約26億円
②労務単価及び建設資材単価上昇	約16億円
合計	約42億円

3. 進捗状況

年度	進捗状況
令和2年度	中部9号幹線（新規着手）
令和4年度	中部6号幹線（新規着手）、中部8号幹線（新規着手）
令和5年度	中部12号幹線（新規着手）
令和6年度	中部9号幹線（完了）
令和8年度	中部6号幹線（完了予定）、中部8号幹線（完了予定）、中部11号幹線（新規着手）、中部12号幹線（完了予定）、中部13号幹線（新規着手）

4. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年度	令和8年度（予定） (A)	令和7年度末（見込） (B)	令和8年度末（予定） (A) + (B)
事業費	1,280	17,251	18,531
進捗率（%）	—	70.7%	75.9%

事業内容

項目	主な施設
管渠	中部6号幹線（完了予定）、中部8号幹線（完了予定）、中部11号幹線（新規着手）、中部12号幹線（完了予定）、中部13号幹線（新規着手）

地震対策（下水道施設）

1. 目的

地震時における最低限の下水道機能等を確保するため、ポンプ場・水処理センターの揚水施設や消毒施設、緊急輸送道路に埋設された管渠等の重要施設の耐震化を推進する。

2. 事業概要

対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場、水処理センター ・重要な幹線管渠等（緊急輸送道路に埋設された管渠、防災拠点に接続する管渠など）
事業費	約126億円（下水道経営計画2028 令和7年度～10年度）

3. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費及び進捗率

（単位：百万円）

年 度	令和8年度（予定） (A)	令和7年度末（見込） (B)	令和8年度末（予定） (A) + (B)
事 業 費	2,927	2,839	5,766
進捗率(%)	—	22.6%	45.8%

事業内容

項 目	主 な 施 設
管 渠	管松第9雨水幹線、月隈第8雨水幹線、塩原老司雨水幹線
ポンプ場	興徳寺
水処理センター	和白、中部

【参考】道路現況、河川整備状況、下水道普及状況

○道路現況

（令和7年4月1日現在）

区分	道路		橋梁数
	路線数	道路延長(m)	
国 道	3	30,764	25
県 道	49	255,598	214
市 道	22,659	3,601,530	1,787
合計	22,711	3,887,892	2,026

※単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

○河川整備状況

（令和7年4月1日現在）

区分	箇所数	全体延長(m)	改修済延長(m)	改修率
二級河川 (都市基盤河川)	20	54,230	49,967	92.1%
準用河川	25	49,670	39,001	78.5%
普通河川	64	64,850	41,472	64.0%
合計	109	168,750	130,440	77.3%

※二級河川（都市基盤河川）とは、市域内二級河川（県管理）42河川のうち、市で改修を行うために指定した河川である。

○下水道普及状況

（令和7年4月1日現在）

処理面積	17,201ha
処理人口	1,655,940人
人口普及率	99.7%

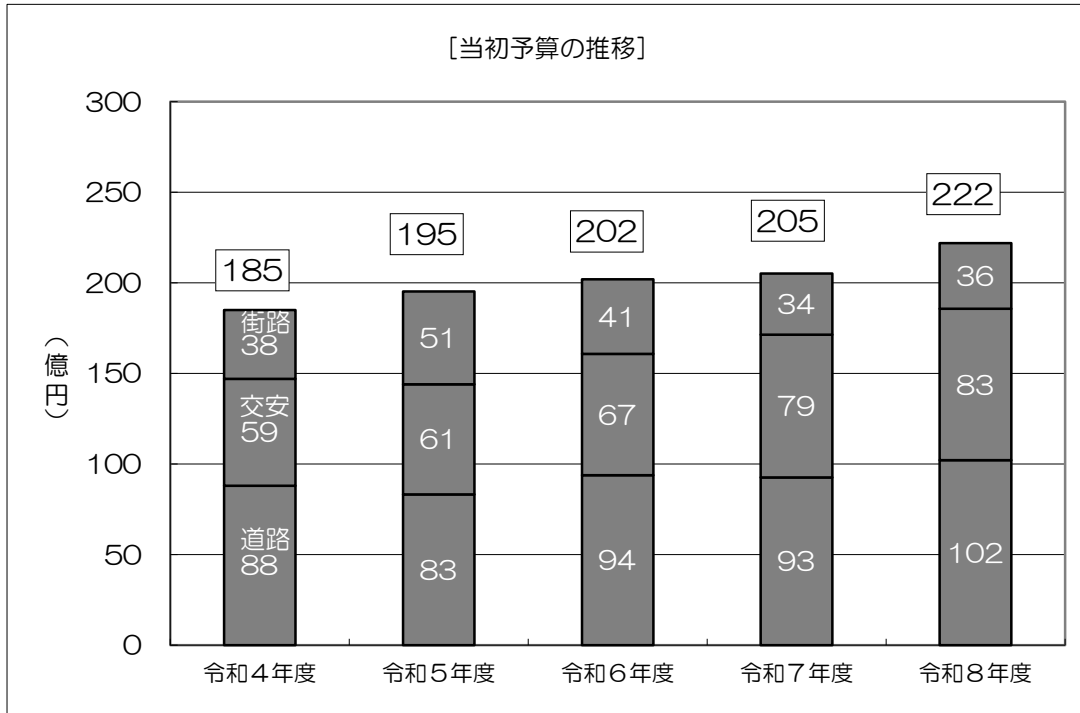
※公共下水道は、99.7%で概成である。残る0.3%は、農業漁業集落排水事業等である。

【参考】水処理センターにおける主な再生可能エネルギーの取組状況

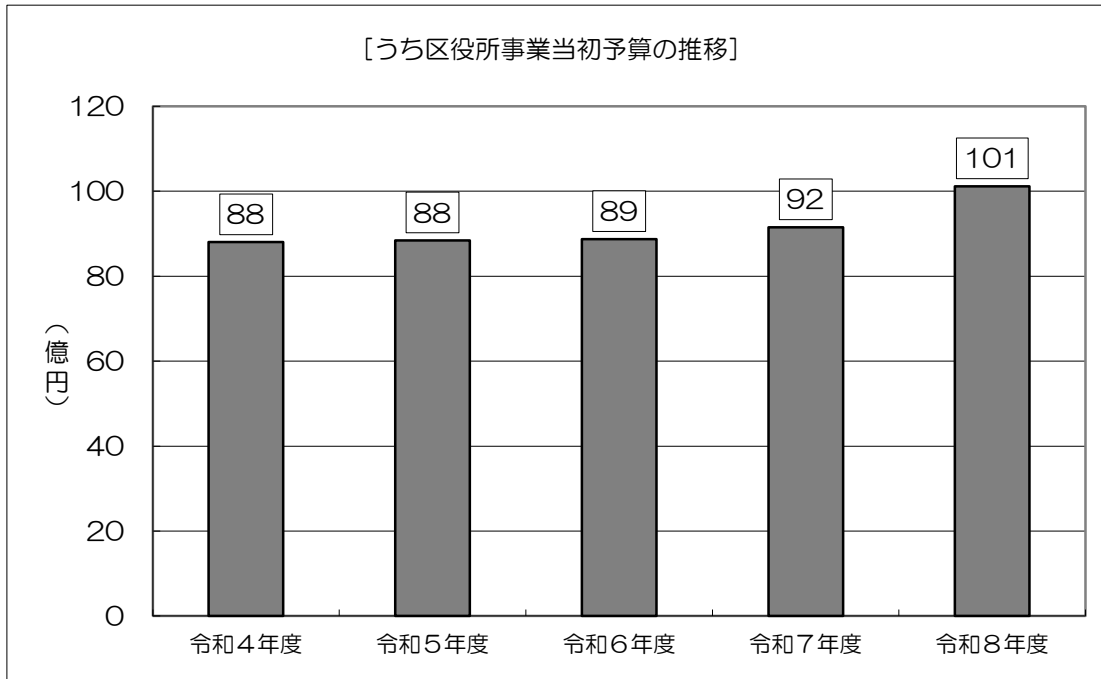
種 別	水処理センター	能力 等	導入年度
バイオガス発電	和 白	100 [kW]	平成26年
		100 [kW]	令和 6 年
		100 [kW]	令和 7 年
	中 部	1,999 [kW]	平成28年
	西 部	360 [kW]	令和 8 年 (予定)
太陽光発電	和 白	125 [kW]	令和 7 年
	東 部	75 [kW]	令和 8 年 (予定)
	西 部	1,320 [kW]	平成28年
		75 [kW]	令和 8 年 (予定)
	新西部	10 [kW]	平成26年
		1,000 [kW]	平成28年
		105 [kW]	令和 7 年
下水汚泥固形燃料化	西 部	33,000 [t/年] (汚泥の受入量) ※固形燃料は下記にて活用予定 ・麻生セメント (田川) ・UBE三菱セメント (苅田)	令和 2 年
再エネ電力調達	中 部	3,700 [kW] (対象施設の契約電力)	令和 4 年
	西戸崎、和 白、東 部 西 部、新西部 (ポンプ場等含む)	18,500 [kW] (対象施設の契約電力)	令和 6 年

【参考】道路下水道局における整備予算の推移

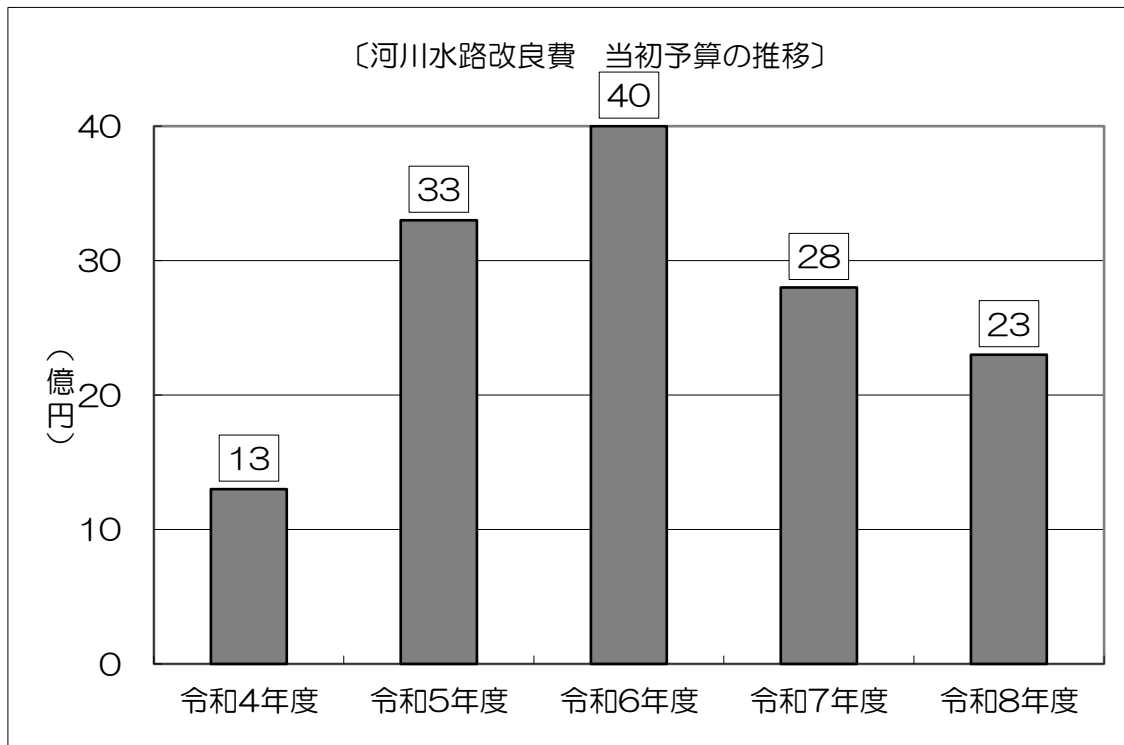
1.道路整備事業



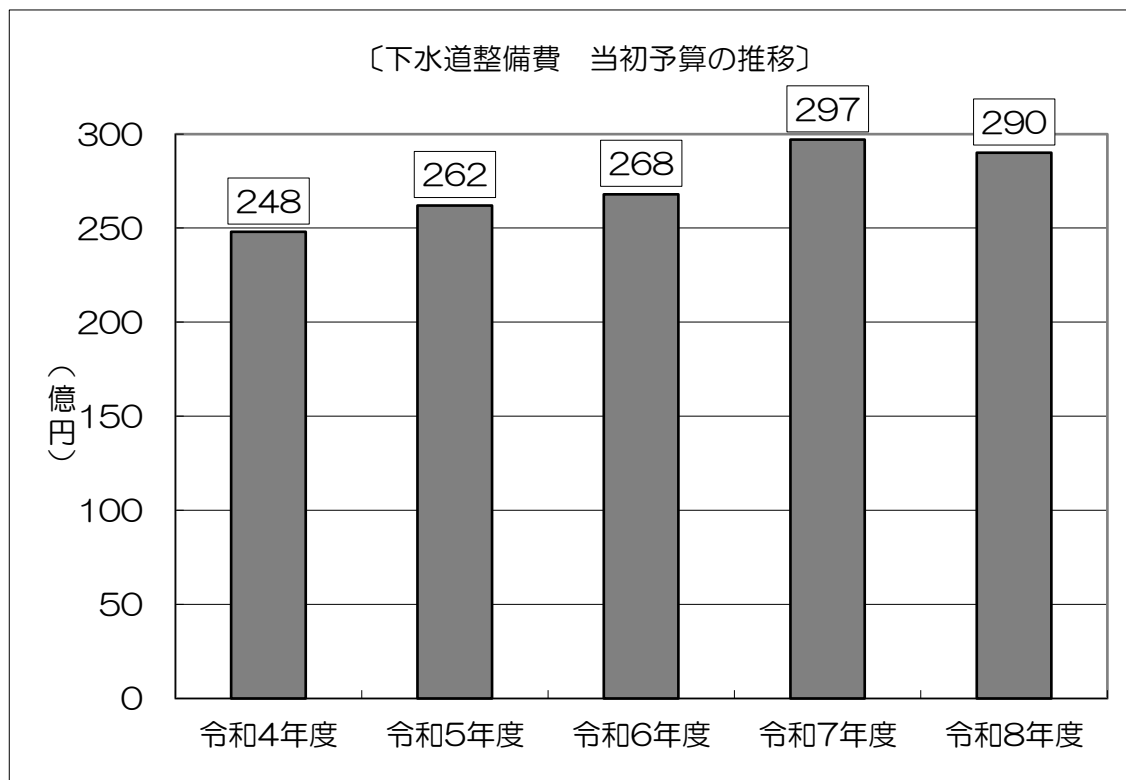
※道路新設改良費、交通安全施設等整備事業費、街路新設改良費の合計
 ※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある



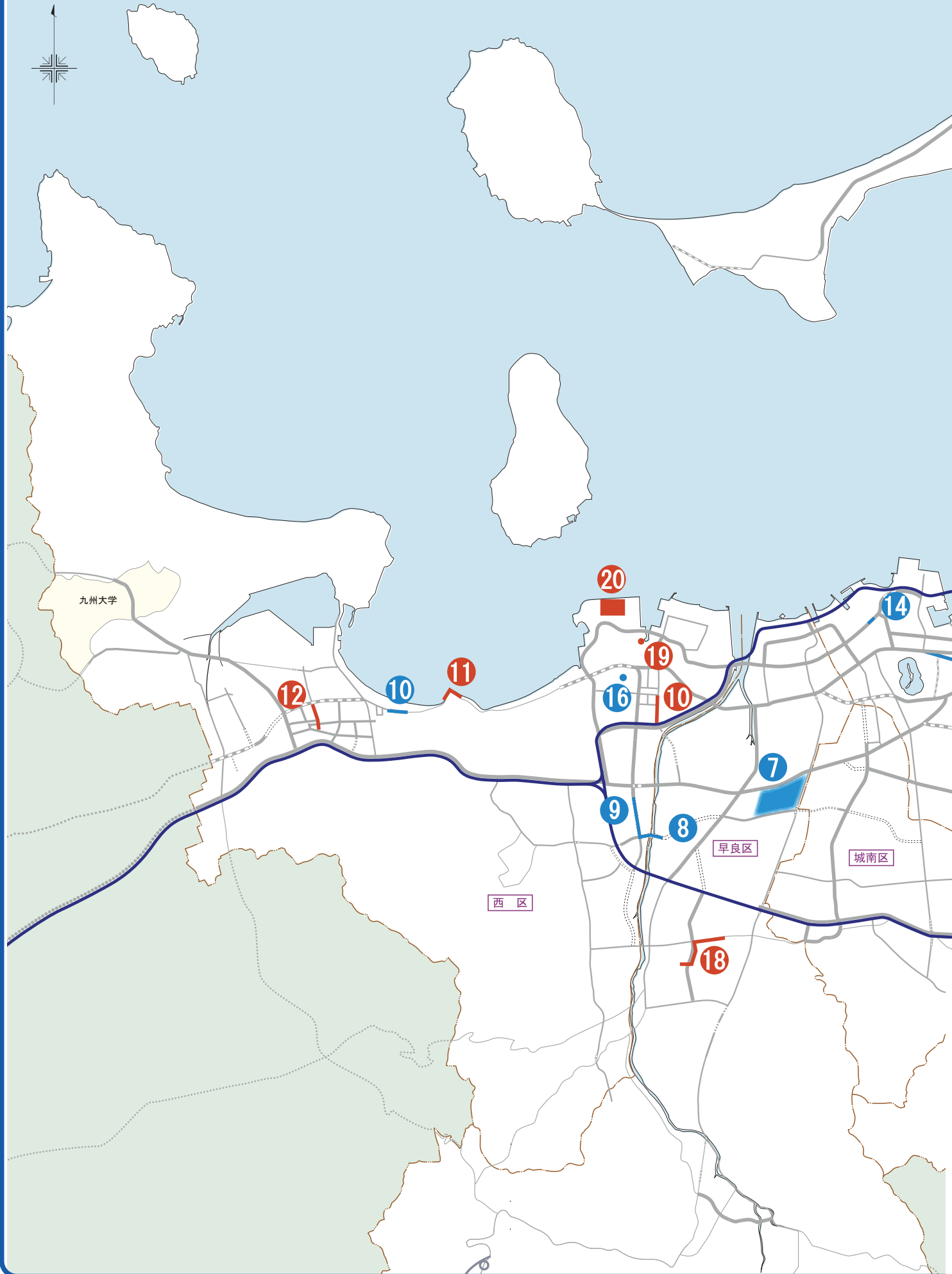
2. 河川整備事業



3. 下水道整備事業



令和8年度 主な新規着手・整備完了予定箇所





主な新規着手予定箇所

【道路】

区	路線名等	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	延長 (m)	番号	備考
東	(市)箱崎149号線	箱崎6丁目	13	13	180	1	無電柱化
	(市)箱崎141号線	箱崎6丁目	13	13	190	2	無電柱化
博多	春住地区	博多駅南3丁目外	-	-	-	3	ゾーン30プラス
	月隈地区	月隈3丁目	-	-	-	4	ゾーン30プラス
中央	(市)千代今宿線	城内~赤坂1丁目	26	26	970	5	再整備
南	大橋1丁目地区	大橋1丁目	-	-	-	6	ゾーン30プラス
早良	飯倉中央地区	飯倉2丁目~3丁目	-	-	-	7	ゾーン30プラス
	(都)長尾橋本線(有田)	橋本2丁目~有田7丁目	8	22	500	8	拡幅整備
西	(県)都地姪浜線外1線(福重)	福重1丁目~橋本2丁目	-	27	1,000	9	道路新設
	(市)千代今宿線(今宿駅前)	今宿1丁目~今宿駅前1丁目	11	16	250	10	拡幅整備

【下水道】

区	施設名	概要	番号	備考
東	管松第9雨水幹線	□3,050mm×1,500mm L=110m	11	地震対策
	管松第1ポンプ場	雨水ポンプ更新	12	改築更新
中央	中部11号幹線	○2,200mm L=1,000m	13	浸水対策
	第2遮集幹線	○2,200mm L=150m	14	改築更新
南	塩原老司雨水幹線	□3,600mm×2,500mm L=50m	15	地震対策
西	興徳寺ポンプ場	耐震補強	16	地震対策

主な整備完了予定箇所

【道路】

区	路線名等	区間	現況幅員 (m)	計画幅員 (m)	供用延長 (m)	番号	備考
東	(都)アイランド東1号線	香椎照葉7丁目	-	23	453	1	道路新設
	(主)福岡直方線(松崎団地入口交差点)	若宮1丁目~2丁目	15	15	50	2	交差点改良
	(都)粕屋久山線(土井)	土井2丁目	-	25	250	3	道路新設
博多	(市)中呉服町420号線	中呉服町	6	6	95	4	再整備
	三筑・諸岡地区	三筑1丁目外	-	-	-	5	ゾーン30プラス
	(都)西鉄天神大牟田線側道17号線外	南八幡町2丁目~南本町1丁目外	4	7~8	1,430	6	拡幅整備
中央	高宮校区Ⅱ地区	高砂2丁目外	-	-	-	7	ゾーン30プラス
南	(県)山田中原福岡線(五十川1丁目交差点)	高木1丁目~五十川1丁目	9	12	60	8	交差点改良
	(県)後野福岡線(屋形原1丁目交差点)	屋形原1丁目	8	11	70	9	交差点改良
西	(市)姪浜小田部線	姪浜駅南1丁目~2丁目	16	16	460	10	自転車通行空間
	(市)千代今宿線	今宿青木	11	11	150	11	無電柱化
	(市)徳永1号線	西都1丁目~2丁目	18	18	550	12	自転車通行空間

【河川】

区	河川名	概要	番号	備考
東	準用河川 香椎川	地下河川 L=720m	13	治水対策

主な整備完了予定箇所

【下水道】

区	路線名等	概要	番号	備考
博多	金隈地区雨水管	○1,650mm L=650m	14	浸水対策
	堅粕第3ポンプ場	電気設備更新	15	改築更新
	築地町ポンプ場	非常用発電設備更新	16	改築更新
中央	中部6、8号幹線	○1,800mm L=1,360m	17	浸水対策
早良	西田隈第3雨水幹線	○1,800mm L=840m	18	浸水対策
西	姪の浜ポンプ場	雨水ポンプ更新	19	改築更新
	西部水処理センター	下水バイオガス 発電設備新設	20	再エネ施設整備